

# すばるの四季

社会福祉法人 星の会

〒263-0054 千葉市稲毛区宮野木町 395 番地 2

No.34 2021年8月

TEL 043(305)5986

FAX 043(305)5987

## ホップ・ステップ・ジャンプ

理事長 大井 妙子

先日ふとテレビを見たら三段跳びの美しい映像が映っていました。「三段跳び」という言葉さえ久しく聞かないこの頃でしたから、その美しさにしばしうっとりとしたことでした。小学生の頃何かにつけて「ホップ・ステップ・ジャンプ」と言いながら仲間と追い駆けっこをしていたナー等と思い出しながら…。

さて、平成3年に畑通勤寮の保護者会に「生活ホーム研究会」が誕生し、2年後の平成5年に第一号のグループホーム（当時は生活ホーム）が誕生し早や28年が過ぎました。

通勤寮生の希望と、在籍が長かった順にグループホームに移っていただきましたがその中に「会社が遠くなったからやめて退職金でニワトリを飼って卵を売って小遣いにしたい。」と言う人がいました。そこでボランティアに4m×6m程の大きなとり小屋を作ってください養鶏をやっている方から80羽のイサブラウンの寄付をいただいてタマゴ屋さんが誕生したりもしました。この頃が私たちにとっての「ホップ」さあやるぞという時期であったでしょうか。

以降は、NPO法人の設立認可を受けたり、（認定NPOの設立認可に挫折したこともありましたが）利用者さん達との生活は雇用先との連携もとりながら遠くはハウステンボス、近くは県立美術館・怪獣博覧会と沢山の旅行や見学会も楽しみました。

また、理事会や総会の決議を経て疑似私募債の発行をし利用者さんやご家族の多大なご協力があって日中活動の場を新設することが出来ました。事務室もできてご本人達への支援も充実したものにすることが出来たと考えています。

しかし何よりも利用者さん達の終の棲家としてこの仕事を続けていく上で努力の甲斐があったと感じられたのは、平成27年9月1日付「社会福祉法人 星の会」の設立認可をいただいたことでした。

この年には特定相談支援事業所の指定もいただき一層の充実を喜び合うことができました。

この頃からでしょうか、利用者さんの加齢傾向が目立ちまた通院回数が増加して入院・手術等ご家族や地域の医療機関、訪問看護等支援機関との連携も多くなり今までのように法人内の努力だけでは立ち行かなくなる場面が目に見えて来ているように思います。「ステップ」の段階もここまでか…と思うこの頃です。では、何をどうすれば「ジャンプ」ができるのでしょうか。

高齢になって行く方々の身体機能の維持に向けて、運動機能訓練や医療機関との連携はどうか。形だけではない日々の話し合いが欲しい。

「ぼくの作ったナスどうだった？」「おいしかったヨ！色もとてもきれいだったしい！」そこではじける笑顔。自信。

「ぼく、きょうおまつりで舞ったヨ」「たのしかった？」「うん」とテレル笑顔。いつもは座ったまま動こうとしないのに？若い方々の自立への準備はどうか。本人はサテライトへ出ただけで満足をしていないか。地域へ出て自立した時支援者側には何が出来るか。

「プロ野球観に行きたいナ」「あ、私も一緒に行きたい？」（あのこと相談しようかな…）（何か相談があるのかな…）

職員の一人一人が利用者皆さんと心が通じ合っていてこそその安心安全、これが「ジャンプ」のキーワードになるのではありませんか。

これを読んで下さるお一人お一人が理解し合って協力しあえることを願っています。

外出が思うように出来ない今、グループホームではどんなすごしかたをしているのかちよこっと紹介するコーナーです。



第一弾はつばさ寮です!!



休日のつばさ寮では、庭の畑の草取りや育てた野菜の収穫を行っています。ミニトマト、キュウリ、ピーマン、なす、ししとう、ブロッコリーなど種類も豊富です。



たくさん採れました



トマトどうですか？

採れたてはおいしい!



ブロッコリーみてみて~



なすの収穫上手でしょ



GH

## 新任職員の紹介



高村 孝太

今年度より皆さまと一緒に働かせていただくこととなりました 高村と申します。

このたび、ご縁がありこちらの施設に入職させていただきました。

障がい者にかかわる仕事は初めての事で、いち早く仕事を覚えて職場及び利用者さんに貢献出来るよう一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

中野 春日

初めまして!

今年度入社ですみれ荘の中野です。まだ入職したばかりで右も左もわからないですが、一生懸命利用者の皆様の生活が少しでも豊かになるようにがんばります。



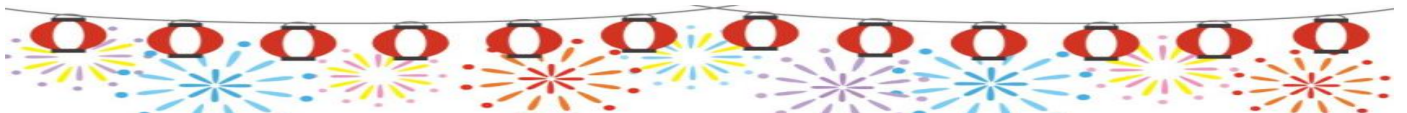
佐瀬 洋子

今年度 入社しました佐瀬です。前職での経験を活かした仕事がしたいと思い入社に至りました。

私の座右の銘は 和顔愛後です。この言葉をモットーにより良い支援をして行ける様、尽力していく所存です。

今後共ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。





# 室内で夏祭りの雰囲気を楽しみました



## W&S すばる



今回は、7月31日に2グループに分け、密を避けての開催となりました。  
射的、魚釣り、輪投げなどのゲームでは景品も獲得でき、皆さんとても喜んでおられました。また、盆踊りでは事前の練習成果もありとても盛り上がりました。(小川)



## 新任職員紹介

### 渡邊 斐香

4月からW&Sすばるで支援員として働くことになりました渡邊斐香です。  
これまでは放課後等デイサービスで、児童指導員をしておりました。生活介護の仕事は初めてになりますので、日々の支援が勉強になっています。  
利用者の皆様に笑顔で今日も来て良かったと言って貰えるように頑張っていきたいと思えます。  
不慣れなところもあり、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

### 竹内 恭子

4月からW&Sすばるに仲間入りしました竹内恭子と申します。  
私の成人している長女が知的障害を持っており、これまで沢山の支援の方にお世話になってきました。不安な時に私を励まし、安心させてくださった支援の方々への憧れもあり、一念発起して仲間入りさせて頂きました。全くのゼロからのスタートで未熟なところもありますが、利用者の皆様やご家族様、支援の仲間達と楽しい時間を過ごせるように頑張っていきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。

## 研修委員会の取り組み

令和元年4月より新たに研修委員会が発足され、今年で3年目を迎えました。発足当時は「何から始めていいんだろう」と雲を掴むような心境でしたが、会合を重ねていくうちに「研修の必要性・重要性」や「学習する習慣の大事さ」など研修委員会の中にテーマが生まれ始めました。それらを念頭に法人職員に足りない「知識」「技術」は何なのか、また「学習する習慣の定着」をどのようにしていくのか、少しずつではあったが骨格が出来始めてきました。研修委員会では継続して学習する為の「定期研修会」、外部講師の方を招いて、専門的な知識、技術習得を目的とした「不定期研修会」を企画、実施してきました。

研修内容も様々で、「援助職の基本」を学ぶ研修や緊急時の対応を学ぶ「救命講習会」、また利用者の高齢化に併せての対応を学ぶ「介護技術・知識習得」研修会を開催。職員からも「参考になった」「業務にすぐ活用できる」などの声も聞かれ、また学ぶ事の大切さも浸透し始めてきたように思います。今年度に関しては研修委員を8名に増員。新たな取組みとしてグループワークによる勉強会の開催も企画しています。今後も学ぶ事の大切さをテーマにより実践的な研修を企画して行きたいと思えます。(石川)

### 介護研修会の様子



### 救命講習会の様子



## 保護者会の活動再開を心待ちに…



保護者会会長 渡辺 敏

外出や会食の「自粛」が求められ何事も「リモート」が推奨されて一年半が過ぎました。交流、ふれあいを基礎に利用者や職員との相互理解、支え合いの促進を目指してきた保護者会にとってはほとんど身動きできない状態が続いています。

食事会やすばる祭りの楽しい時間がいかに貴重だったかを痛感しています。活動を再開し皆さんと再会できる日を心待ちにしています。引き続きご理解ご協力をお願い致します。

### ありがとうコーナー

🌻 伴 玲子 様

🌻 石井 良雄 様

🌻 (有)三堀工務店 様    🌻 (株)ミツワフードシステム 様

🌻 三菱コルト自動車販売(株) 様    🌻 興栄燃料(株) 様

🌻 マルナカ(株)シェフクック 様    🌻 (株)蓬菜本館 様

### 編集後記

楽しい行事を広報誌で取り上げられる日々が早く訪れますように…。

暑い日が続きますが水分をしっかり摂って乗り切りましょう!! (加藤)